

平成21年度 第2回 府中市国民健康保険運営協議会（平成22年1月28日開催）

## 会議録（要点筆記）

会 長：平成21年度第2回府中市国民健康保険運営協議会を始めさせていただきます。

### 日程第1 府中市特定健康診査・特定保健指導の実施状況について

会 長：日程第1の「府中市特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」を議題とします。事務局より説明願います。

保険年金課長補佐が資料1について説明を行った

会 長：説明が終わりました。ご質問をお受けします。

委 員：受診率が昨年度と比べるとやや落ちているが、もう少し上げる方法はないでしょうか。また、実施時期について、今年は7月～9月までで良かったと思います。今年は新型インフルエンザがあったため10月以降は大変でした。

保険年金課長補佐：受診率は若干落ちています。計画については来年度の見直しの中で検討していきたいと思っています。

委 員：委託先の保健教育センターに対して、クレームや、この点が良かったという意見が届いていればそちらを教えていただきたいのと、それを次回の見直しの際に活かしていただきたいと思っています。

保険年金課長補佐：保健教育センターへのクレーム等は、その都度、報告を受けています。今後も実施計画に反映させていくように、連絡を密に取っていきたくと思っています。

委 員：胃の健診が必要なのか、という問題があります。どれくらいの検出率があったのでしょうか。ただ健診をやるのではなく、もう一歩進んで考えていただきたいと思っています。

委 員：特定健診に胃の健診は入っていません。レントゲンは入っていますが、それは大切なことだと思っています。どのくらいの率でどのような異常所見が見られるか、ということは毎年医師会で反省会を行っており、数値が出ております。資料に載っているような細かい数値は、市の方で統計的に出ているのでしょうか。

保険年金課長：市ではいろいろな健診をやっており、市の中で情報を共有することで市民の健康管理に役立てていきたいということも含めて、来年度の特定健診

見直しの中で検討していきたいと思っています。特定健診はあくまで成人病予防に特化したものですので、そこはご理解をいただきたいと思います。

会長：ほかにご質問がないようですので、本件は了承といたします。

## 日程第2 平成21年度府中市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の概要について

会長：日程第2「平成21年度府中市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の概要について」を議題といたします。事務局より説明願います。

保険年金課長補佐が資料2について説明を行った

会長：ご質問はございませんでしょうか。

委員：基金繰出金という項目は、新しく入ったのでしょうか。

保険年金課長：現在、国民健康保険の関係で、出産費貸付基金と高額療養費貸付基金という2つの基金があります。それぞれ1,500万円ずつあり、それを利用者にお貸して、出産費貸付の場合は出産育児一時金で、高額療養費貸付の場合は高額療養費で返していただく仕組みになっています。出産費については、昨年10月から直接支払い制度ができたため、高額療養費は平成15年度から受領委任払い制度ができたため、ここ数年の利用実績が少ないので、両基金を一度廃止したうえで新しい基金を設けて、新しい基金の中で2つの貸付事業を行いたいと思います。1,500万円については、国保特別会計の中に入れていただきます。新しい基金については今年の3月31日に新設する予定ですが、利用実績等を考えて残高を300万円として計上させていただいています。

委員：共同事業交付金、拠出金について、15%の誤りがあったということですが、これでいいのでしょうか。

保険年金課長：共同事業というのは、東京都国民健康保険団体連合会の事業として各保険者から高額療養費に相当する額を拠出する再保険制度であり、その中で前期高齢者支援金の関係で単純な算定ミスがありました。それによって各団体ともこのような補正をしています。東京都国民健康保険団体連合会では担当者始め理事長まで懲戒処分になったと聞いています。

会長：ほかにご質問がないようですので、本件は了承といたします。

## 日程第3 平成22年度府中市国民健康保険特別会計予算の概要について

会長：日程第3「平成22年度府中市国民健康保険特別会計予算の概要について」を議題といたします。事務局より説明願います。

保険年金課長補佐が資料3について説明を行った

会長：ご質問はございませんでしょうか。

委員：予算について後期高齢者支援金分と介護分の滞納繰越分が一般分も退職者分もだいぶ増えています、その辺はどのような見込みを持っていますか。

納税課長：後期高齢者医療制度は平成20年度に発足したので、昨年度の滞納繰越分はありません。平成22年度については、この程度滞納分が出るだろうという推測をして出しています。滞納分は収入未済等があるため増えています。現状の経済状況により低収入の方はなかなか完納まで至らないという実態があります。

委員：65歳以上の退職者分は一般分に代わっていますが、退職者分の後期高齢者支援金分が増えているのはどうしてでしょうか。

納税課長：平成20年度に後期高齢者医療制度が始まり、平成22年度に初めて滞納繰越分が計上されるので、平成20年度と平成21年度の2年分の滞納が発生する見込みです。

委員：退職者分の滞納繰越分の後期高齢者支援金分について、倍に増えていくのであれば、前年度227千円で本年度500千円になるのであれば納得しますが、本年度851千円と大幅に増えているのはなぜですか。

納税課長：昨年度の予算額227千円は実績がないため見込み数字です。実績に近い数字で収納率を46%と見込むと平成22年度は851千円程度になります。

委員：2年前の収納率は90%を目標にしていたのですが、いつになると達成されますか。平成21年度からは91%にすると議事録に残っていますが、その辺の説明をお願いします。

保険年金課長：現年分の収納率について、国保の平成19年度の実績は89.1%、平成20年度は86.9%です。ただし、後期高齢者医療制度の府中市分については平成20年度99.3%でした。2つの制度を単純に足すと、平成20年度は89.9%になります。全国で見ても後期高齢者医療制度の方が収納率が高く、国保の収納率は全国平均2.12ポイント落ちています。収納率は100%を目指すべきだと思っていますが、このような状況ですので、今後とも鋭意取り組んでいきたいと思えます。

委員：2年前の議事録では、収納率は26市の中で平均以上を目指すとされていますが、それは守られていますか。

納税課長：昨年度の決算で26市中22位という低い状況です。平成21年度12月末では13位程度となっています。

委員：不能欠損が毎年3億円出ています。これは市だからできることで、一般市民としては何か方法はないか、どうしてこのようなことになっているのか、と感じます。何か考えてもらえないでしょうか。

会長：収納率については長年の懸案事項で、数年前は常に26市中26位でし

た。一般会計からの繰入によって国保会計が間に合っている状況ですが、今後も引き続き繰入でやっていけるかということもあわせて検討していかなければいけない大きな課題だと思います。収納すべきものは収納するという前提がないと税の改定等議論が進まなくなる可能性があるので、担当の方で対策を練っていただき、今後も取り組みをお願いしたいと思います。その他、質問はありますか。

**委員**：ひとは収納率について、昨年10月から特別徴収になったことで収納率が変わったのでしょうか。また、希望する人は普通徴収にすることができますが、そのような人はいるのでしょうか。また、減免申請は増えているのでしょうか。

**保険年金課長補佐**：特別徴収について、収納率はまだ年度が終わっていないので出ていません。口座に替える方はいらっしゃいます。月に1、2件と聞いています。減免申請は増えています。理由としては、会社を会社都合で退職した方が増えているためと思われます。

**会長**：ほかにご質問がないようですので、本件は了承といたします

#### 日程第4 その他

**会長**：日程第4「その他」を議題といたします。事務局より説明願います。

**保険年金課長補佐**：会議録の公開について、府中市付属機関等の会議の公開に関する規則6条に基づき会議録を作成しており、紙ベースのものを市政情報公開室で閲覧に供しています。平成20年7月から市のホームページでの公開も可能となっていますので、情報公開条例の趣旨にも鑑み、本協議会の会議録についてもホームページでの公開を実施したいと考えています。インターネットの特質上、個人情報保護の観点から「会長」「委員」のように具体的な氏名は載せないということで考えていますが、ご協議ください。

**委員**：他の市の会議録と比べて、内容が細かいと思います。

**保険年金課長補佐**：内容のボリュームは協議会によって異なり、本協議会では一語一句載せています。

**会長**：紙ベースの議事録は委員さんの氏名も載せてあり、資料室で公開されています。ただいまの提案は、府中市ホームページ上で載せる場合に各委員さんの発言を「委員」という形で載せさせてもらってはどうか、ということでご意見をいただきたいと思います。

**委員**：資料室にある議事録には資料が付いていないため、内容がわかりません。資料の数字を公開できないのであれば、ホームページで公開する必要はないと思います。

**保険年金課長**：現在のところ資料は添付していませんが、開示していい情報だと思って

います。どの部分まで開示するか、ということも含めて検討していきたいと思っています。

委員：このような協議会は、民主主義的な考えからいくと、ホームページでの公開をするべきだと思います。

委員：委嘱を受けた委員がやっているのでも議事録は原則公開すべきです。資料がないため見てもわからない場合は、開示請求をすることになると思います。また、セキュリティを考えると、匿名で出すというやり方がいいと思います。

会長：議事録を公開する方向で事務局に整理をしていただくということでのよろしいでしょうか。

全委員：異議なし

会長：この件については以上で終わります。  
事務局からほかに何かありませんか。

事務局：特にありません。

会長：以上本日の日程は終了いたしました。  
これをもちまして、平成21年度第2回国民健康保険運営協議会を閉会いたします。